

## 省力・低コストな畦畔管理技術

### 要約

イワダレソウ栽植 1 年目の経営改善効果は薄いですが、導入 2 年目以降の畦畔管理時間や除草費用の軽減が期待される。

### ○ 展示のねらい

畦畔の草刈りは労働負担が大きく、規模拡大の制限にもなっていることから、省力的な畦畔管理法の確立が必要である。

試験区 イワダレソウ（商品名：クラピア）＋植栽シートライト

対照区 通常畦畔（機械除草・除草剤）

### ○ 主な成果

表1 イワダレソウ栽植後の被覆割合

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	移植時	+1ヶ月	+2ヶ月	+3ヶ月	+4ヶ月	+5ヶ月
被覆割合	5%	10%	35%	60%	80%	90%

表2 80m<sup>2</sup>あたりの作業時間(単位:時間)

	整地	移植	灌水	除草作業	薬剤散布	合計
試験区	2.0	1.5	0.5	1.5(0.5×3回)	1.0(0.5×2回)	6.5
対照区				1.0(0.5×2回)	1.0(0.5×2回)	2.0

表3 80m<sup>2</sup>あたりの資材費(単位:円)

	種苗費	資材費	薬剤費	合計
試験区	25,632	21,600	160	47,392
対照区			320	320



図. イワダレソウの生育の様子

試験区において、イワダレソウは栽植 5 ヶ月後には区の 90% を被覆した。導入 1 年目は、資材費・作業時間ともに試験区の方が大きくなった。

導入 2 年目からは、新芽の動きだしも早く、被覆日数も長くなるため畦畔管理時間や除草費用の軽減が期待できる。

### ○ 今後の方向性

イワダレソウを移植することにより、畦畔管理作業の省力・低コスト化が期待できる。イワダレソウの普及にあたっては、白絹病に注意する。

実施機関：安足農業振興事務所経営普及部 実施場所：足利市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315